

2021 保育分野・情勢学習会

「コロナ禍における保育制度

「改革」の真の意義を考える」

2020年、新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延し、社会保障における公的責任の重要性が改めて確認されました。しかしながら、菅政権は「自助・共助・公助、そして『絆』」を掲げ、新自由主義的な考え方に基づく「全世代型社会保障」への転換を強権的に進めようとしています。

こうした中、保育分野でも、2021年4月から公定価格の引き下げにより、収入・給与が減となります。また、新子育てプランにより、都市部等の保育所における常勤配置基準の緩和（常勤換算方式の強化）などが行われます。これは、今後、保育の仕組みを介護や障害福祉と同様にしていくための新たな方策に他なりません。こうした問題について、保育だけでなく、介護・障害事業経営者の皆さまも共に学び、公的責任に基づく社会福祉制度の重要性を改めて確認しましょう。



日にち：2021年3月30日（火）

時間：10:00～12:00

テーマ：「コロナ禍における保育制度『改革』の真の意義を考える」
大阪保育研究所 杉山 隆一氏

参加費：会 員 …2,000 円

非会員 …4,000 円

* 参加費は一人当たりの費用です。複数人で共有するのはお控えください。

お申込：Google フォーム

<https://forms.gle/a4hjqU4gJS5meYzNA>

お振込先：ゆうちょ銀行 振替口座 00930-4-196543

口座名義 社会福祉経営全国会議

（通信欄に「研修日」「研修名」と「参加者の氏名」をお書きください。）



お問い合わせ先：社会福祉経営全国会議

〒543-0045 大阪府大阪市天王寺区寺田町 2-5-6-902

Tel：06-6772-1360 E-mail:jimukyoku1@f-zenkoku.net

主催：一般社団法人 社会福祉経営全国会議

誰でも、いつでも、どこに住んでいても、国の責任において必要な支援が受けられる社会福祉をめざすとともに、社会福祉事業を安定的に発展させましょう！